

ギニア月報(2018年8月)

主な出来事

【内政】

- 8日、ティブー・カマラ産業・中小企業大臣、ブレマ・コンデ国土行政・地方分権大臣(政治合意フォローアップ委員会委員長)及びアマドゥ・ダマロ・カマラRPG Arc-en-ciel 党議連長により構成された与党陣営(La mouvance)代表は、UFDG党(野党第一党)本部にて、選挙関連訴訟及び「2016年10月12日政治合意」の未履行事項につき、野党陣営幹部らと会談し、今年2月4日に実施された地方選挙の結果に関し合意に達した。

【外政】

- 9日、コンデ大統領は、大統領主宰閣議にて、ラマ保健大臣に対し、コンゴ(民)政府及び世界保健機関(WHO)事務局長からのエボラ・ウイルス疾病対策医療技術者の同国への再派遣要請に対し前向きに応じるべく、適切な措置をとるよう命じた。

【経済(経済協力含む)】

- 10日、ギニア政府はトルコ企業 Albayrak 社との間で、コナクリ自治港(Port autonome de Conakry:PAC)の旧港地区に係る25年間の時限譲渡契約に署名。
- 16日、キンディア市サモレヤ・キャンプにて、米国によるギニア陸軍に対する装甲車3台を含む軍用機材供与式典が開催され、モハメド・ディアネ国防大臣及び当地米大使等が出席。
- 23日、ギニア西部のボケ市コレア地区において、中国北方工業公司(North Industries Corporation:NORINCO)傘下の Auxin Mining Service 社により建設された民間用爆薬製造工場の竣工式が開催され、モハメド・ディアネ(M. Mohamed DIANE)国防大臣等が出席。鉱山地域であるボケ県において、鉱山会社が利用する爆薬を製造する。年間製造量は、液体爆薬6千トン、アンホ爆薬1万トン、起爆装置3百万台等。直接・間接含めて、200人の雇用を創出見込み。

1 内政

- ・ 8日、ティブー・カマラ産業・中小企業大臣、ブレマ・コンデ国土行政・地方分権大臣(政治合意フォローアップ委員会委員長)及びアマドゥ・ダマロ・カマラRPG Arc-en-ciel 党議連長により構成された与党陣営(La mouvance)代表は、UFDG党(注:野党第一党)本部にて、選挙関連訴訟及び「2016年10月12日政治合意」の未履行事項につき、野党陣営幹部らと会談し、今年2月4日に実施された地方選挙の結果に関し合意に達した。

2 外政

- ・ 7日、コンデ大統領は、シャカ・シソコ(Siaka Cissoko)アフリカ統合局長(協力・アフリカ統合省)を駐ナイジェリア大使(兼西アフリカ経済共同体(ECOWAS)常駐代表)に任命。

- ・ 9 日、コンデ大統領は、大統領主宰閣議にて、ラマ保健大臣に対し、コンゴ(民)政府及び世界保健機関(WHO)事務局長からのエボラ・ウイルス疾病対策医療技術者の同国への再派遣要請に対し前向きに応じるべく、適切な措置をとるよう命じた。
- ・ 13 日、コンデ大統領は、ママドゥ・ボー・ケイタ(Mamadou Beau KEITA)駐セネガル・ギニア大使を召還する大統領令を発令した。召還の理由は明らかにされておらず、また後任人事も発表されていない。
- ・ 17 日、コンデ大統領はトルコを訪問。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 1 日、バルデ高等教育・科学研究大臣は、中国企業 CBITEC(China Bengbu International Technology Economic Corporation)社と面会し、同社が事前調査を行っているソンフォニア大学拡張計画(予定工期は 2 年半)及び今後行われる予定の地方 3 大学(ラベ、カンカン、ンゼレコレ)拡張計画について情報共有を行った。
- ・ 6 日、農業省は、マリアマ・カマラ農業大臣主宰の省内会議にて、農業機械化の進捗状況について協議。同省調整の下、トラクター83 台、コンバイン 120 機等が、9 月までに、ギニア陸軍によって国内 7 箇所の機械化センターに配備される予定。
- ・ 10 日、ギニア政府はトルコ企業 Albayrak 社との間で、コナクリ自治港(Port autonome de Conakry:PAC)の旧港地区に係る 25 年間の時限譲渡契約に署名。
- ・ 16 日、キンディア市サモレヤ・キャンプにて、米国によるギニア陸軍に対する装甲車3台を含む軍用機材供与式典が開催され、モハメド・ディアネ国防大臣及び当地米大使等が出席。
- ・ 23 日、ギニア西部のボケ市コレア地区において、中国北方工業公司(North Industries Corporation:NORINCO)傘下の Auxin Mining Service 社により建設された民間用爆薬製造工場の竣工式が開催され、モハメッド・ディアネ(M. Mohamed DIANE)国防大臣等が出席。鉱山地域であるボケ県において、鉱山会社が利用する爆薬を製造する。年間製造量は、液体爆薬6千トン、アンホ爆薬1万トン、起爆装置3百万台等。直接・間接含めて、200人の雇用を創出見込み。

(了)